

OHANAMI

おかなみ

Ohanami

広報誌
vol.51
2019年7月発行

2019 SUMMER

健康って、なんででしょう？

副院長 家村 順三

「女性が働きやすい医療機関」の認定更新

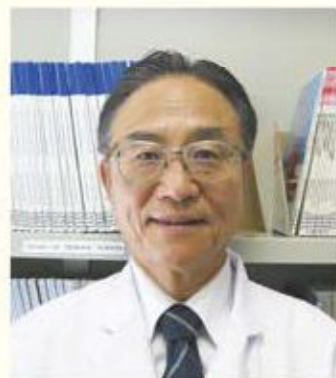
2019年度新入職員紹介

病院での通所リハ開始

「三重県立看護大学と岡波総合病院との連携協力」の協定締結

健康って、なんでしょう？

副院長 家村 順三



日本が平均余命で世界一になって久しいですが、最近では長寿そのものより、健康寿命の方が大事だと言われていますね。では、健康寿命の健康って、どのような状態を指すのでしょうか。世界保健機関(WHO)が定義した健康とは、1948年に発効した国連の世界保健機関憲章の冒頭の一文で、「単に疾患がないとか虚弱でない状態ではなく、身体的・心理的・社会的に完全に良い状態」(下線は筆者追加)というものです。当時は納得できた健康定義であったかもしれませんが、すでに70年以上経っているのです。医学も医療も社会も進歩しているなかで、そんな昔の定義でいいのでしょうか。そのころは不治の病でも、今なら治療しながら元気に生きていける時代になりました。

病気や障害は人生の一部でもあります。ピンピンコロリで亡くなる方以外、私達のほぼ全員が人生のある時点から、永続的に疾患や障害を負うことになるでしょう。一時的なら克服できるかもしれませんが、永続的な障害とは一生付き合っていかなければなりません。脳梗塞、心筋梗塞、癌、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、等々。完全に良い状態に戻りえなくなった時、私達は「健康である」と言えなくなってしまうのでしょうか。

ある国際的な研究グループは、健康を「社会的・身体的・感情的問題に直面した際に、困難な状況に適応し、対処する能力を持つこと」とし、疾患などさまざまな問題を抱えても、それに対応し乗り越えていく「立ち直りや復元力、適応力」を健康の本質ととらえることを提唱しています。病気になっても

種々の治療法や薬、機器や装具を駆使し、介護の力も借り

て、気落ちすることなく人生を前向きに進んで行くこと、その力こそが「健康」というものだ、というのです。

人間は自立し自活することが理想とされ、誰かに依存して生きていくことは負の印象をぬぐえません。しかし、生まれたばかりの赤ちゃんや子供は育ててくれる人を全面的に頼って成長します。成人になって、いわゆる健康であれば、ようやく自立できるわけですが、年齢を経て心身の衰えとともに再び、他者に依存して最期を迎えなければなりません。もともと人は、自由でありながらも依存的存在でもあるのです。お互い様で、持ちつ持たれつで、支えあい、助け合って生きる社会的生き物なのです。

病気をかかえているのに生活習慣も変えず、治療もほったらかしで、自分は健康であるとするのは問題外ですが、たとえ病気になって不自由となっても、がっかりしないで、その状況を受け入れて、できることは自分で行い、他者からの介助も良しとして、生きがいや楽しみを見つけてポジティブに生きていく。それが新しい健康観であり、そのように過ごして「健康寿命を生きる」と実感できれば、満足した人生を送れるのではないのでしょうか。

● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、「人間としての愛」の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

● 岡波総合病院の基本方針 ●

1. 私達は、「至誠・注進・満足」の院訓の基に、患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
1. 私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
1. 私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
1. 私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

● 患者様の権利 ●

1. 患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
1. 患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をつけることができます。
1. 患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法などを自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求めることもできます。
1. 患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
1. 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
1. 患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。

新任医師



てらうち かずま
寺内 一真 医師
放射線科
放射線診断専門医
IVR専門医 核医学専門医
PET核医学認定医
平成31年4月1日 採用

放射線科の寺内と申します。4月より当院で勤務させていただきます。2013年から2016年にかけて一度岡波総合病院で勤務させていただき、今回再度の赴任となりました。病診連携の画像診断などで先生方の診療のお役に立てれば幸いです。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



まえだ まさひこ
前田 雅彦 医師
歯科口腔外科(口腔外科一般)
医学博士 インфекションコントロールドクター
抗菌化学療法認定歯科医師
日本再生医療学会認定医
日本口腔科学会認定医
平成31年4月1日 採用

4月より着任することになった前田です。近年はお口の健康が健康寿命に影響することが分かり、歯科の重要性が認識されています。今後も地域で頼られる専門診療科として責務を果たしていく所存ですので宜しくお願いします。



えがわ たくや
江川 琢也 医師
整形外科(肩関節)
日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
平成31年4月1日 採用

3月までは奈良県立医科大学附属病院にて肩診療班に所属していました。腱板断裂をはじめ、肩疾患を中心に整形外科全般の診療に当たっていきます。よろしくお願い致します。



さわい こういち
澤井 孝一 医師
整形外科(肩関節)
日本整形外科学会専門医
平成31年4月1日 採用

4月より整形外科医として一緒に働かせていただくことになりました澤井です。肩関節を専門としております。よろしくお願い致します。



むらしま ゆみ
村嶋 佑美 医師
内科(消化器内科)
認定内科医
平成31年4月1日 採用

4月より着任いたしました村嶋佑美と申します。三重県出身で、これまで県内の病院で消化器疾患を中心に研修してまいりました。地域の皆様の方の力になれるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



さかもと けいいち
阪本 慧一 医師
泌尿器科
平成31年4月1日 採用

本年4月から当院に赴任となりました阪本と申します。排尿トラブルや尿路結石、腫瘍等を中心に診察しています。お困りのことは何でもご相談下さい。今後ともよろしくお願い致します。



いながき たかひこ
稲垣 貴彦 医師
研修医
平成31年4月1日 採用

4月から研修医として働かせて頂くことになりました。少しでも貢献できるように尽力します。よろしくお願い致します。



うおずみ ゆすけ
魚住 祐介 医師
研修医
平成31年4月1日 採用

4月から初期研修医として働かせていただくことになりました。この地域の医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



やまじ むねやす
山路 棟康 医師
研修医
平成31年4月1日 採用

今年の4月から初期研修医として伊賀の医療に携わることになりました。至らない点が多々あると思いますが、よろしくお願い致します。

退職医師

歯科口腔外科	稲掛耕太郎 医師	令和1年6月30日付
泌尿器科	豊島 優多 医師	令和1年6月30日付
整形外科	杉本 啓紀 医師	令和1年6月30日付
外科	二木 元典 医師	令和1年6月30日付

採用医師

泌尿器科	直井 牧人 医師	令和1年7月1日付
眼科	前田 聡 医師	令和1年7月1日付



『女性が働きやすい医療機関』の認定を更新しました。

看護部長 松島 由実

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が制定され、24時間患者さんを支える役割である看護師の働き方も改革が求められています。これに先がけ三重県では、出産や育児に係る院内制度の充実や、職場環境の風土づくりなどを実践している医療機関を認証する取り組みがおこなわれています(平成27年度～)。当院は初年度に認定を受け、このたび更新審査をクリアいたしました。看護師の多くを占める女性に関連した内容ではありますが、「女性が働きやすい＝男性が働きやすい」と考えますし、職員とその家族がますますHappyになれる職場環境を整備していきたいと思えます。



認証式～三重県庁にて～



新入職員 紹介



薬剤部

つのぶね まる
梅澤 真呂
薬剤師

患者様の役に立てる様、日々努力していきます。まだまだ力不足な点が多いですが、よろしくお願いします。



薬剤部

さかさ えりな
神 恵理奈
薬剤師

地域医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。



リハビリテーション科

のしみ ちかみ
皆見 千晶
理学療法士

社会人として、自身の行動に責任を持ち、仕事に励みたいです。丁寧かつ確に治療できる理学療法士になります。



リハビリテーション科

さわだ まゆみ
澤田 真由香
理学療法士

生まれ育った伊賀市で社会貢献できるよう日々努力し、地域の方々が元気になるように笑顔で頑張ります。



リハビリテーション科

なかお しゅうご
中尾 章吾
理学療法士

入職して数年は、さまざまな疾患の患者さんを担当させていただき自分の興味のある分野を見つけ、認定理学療法士を取れるよう努力していきたいです。自分の人なつっこさを生かし患者さんの痛みを聞き出しそれを叶えれる理学療法士になりたいです。



リハビリテーション科

やまかわ ゆき
山川 友希
理学療法士

患者様やご家族様に信頼していただける理学療法士を目指し、日々努力を惜しまず笑顔で頑張ります。現状に満足せず日々成長します。



リハビリテーション科

すざわら つばき
杉平 唯
作業療法士

患者さんに、リハビリを頑張ってる良かったと思ってもらえるような作業療法が行えるように、様々な経験と勉強を積んでいきたいです。



リハビリテーション科

なかで まみ
中出 真優
作業療法士

知識や技術を身につけ、患者さんに信頼して頂けるよう日々精進します。よろしくお願いします。



リハビリテーション科

みやざき あきひろ
宮崎 晴賀
作業療法士

一人でも多くの患者様を笑顔にできるように、知識や技術を身につけ、寄り添うことのできる作業療法士になれるように頑張りたいと思います。



リハビリテーション科

やまなか みな
山中 美奈
作業療法士

笑顔になれるようなリハビリテーションを提供し、地域の方々への支えとなるよう頑張っていきます。



リハビリテーション科

たけうち そら
竹内 梓
言語聴覚士

仕事を1日でも早く覚えて頑張りたいと思います。



CE部

おにし こうへい
大西 晃平
臨床工学技士

患者さまの不安を少しでも少なくできるような、明るいあいさつを心がけて仕事をします。



CE部

たにもと けいすけ
谷本 慶輔
臨床工学技士

一日でも早く仕事を覚えて、今出来ることをしっかり行うことで地域医療に貢献できるように頑張ります。宜しくお願い致します。



C3

かとう えりな
加藤 早由里
看護師

信頼して頂ける看護師になるために、真心を込めた看護を行い、感謝の気持ちを忘れず頑張りたいと思います。



C3

かみの まゆみ
神野 真由
看護師

どんな時も感謝の心と笑顔を忘れずに、院内会グループの一員としての責任感を持ち努力します!



C3

やぎ しゅうじ
八木 修次
看護師

44歳新人看護師として気持ちを新たに、これからの大きな壁を乗り越え、伊賀の地域に貢献していこうと思います。



C4

うえむら ゆうか
上嶋 祐香
看護師

C館4階病棟に配属になりました。至らない所もあると思いますが、一生懸命がんばりますので、よろしくお願いします。



C4

たかやま さより
高山 紗世里
看護師

至らないことばかりだと思いますが、1日でも早く地域の皆様に貢献できるように一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



C5

いとう ましろ
伊藤 佳子
看護師

患者さんに信頼される看護師を目指します。よろしくお願いします。



C5

おく かおり
奥 葵
看護師

笑顔忘れず、患者・家族様の心に寄り添い、その人らしい生活を送って頂ける看護を提供できるよう頑張ります。



E3

さかい なつき
坂 奈緒
看護師

患者さんにとって癒しの存在になれるように頑張ります。よろしくお願いします。



E3

ふくだ えり
福田 恵
看護師

人の痛みに寄り添える愛ある看護師を目指しています。学ぶ姿勢を忘れず、日々成長できるよう誠心誠意努力してまいります。



E4

ふじわら えいじ
藤原 英俊
看護師

人と話すことが大好きで、何か人の役に立てる仕事と思い看護師を目指しました。看護師になったからといって甘んじることなく日々精進し、患者さんのことを第一に考える看護師になりたいです。



E4

よねもと なつき
米本 奈緒
看護師

地域密着の医療を学び、人との繋がりを深めて伊賀の地に貢献していきたいです。よろしくお願いします。



N2

にしおか みさき
西岡 美貴
看護師

自分を律し、日々学びの精神を忘れず、精進していきます!!



N3

いなだ りんこ
稲田 朗子
看護師

生まれ育った伊賀市に恩返ししようと考え、入社しました。毎日元気に出勤し、患者さんを元気づけられるよう何事にも積極的に、1つ1つの手技を丁寧に成長していきたいです。



N3

ながの ぼるな
長尾 遥那
看護師

夢であった看護師になった喜びと、これから看護師として患者様の命を支える責任力に対する思いなど、様々なことを考えてしまう時期ですが、毎日目標を持って頑張ります。

W
しんまち
新町 しのぶ
准看護師

よろしくお願ひします。

手術室
なか えりな
中 絵里奈
看護師

前職としてアパレルや飲食店で勤め、人と関わるのが大好きです。その経験を活かし看護師として患者さんを少しでも笑顔にできる看護師を目指したいと思っています。家事・育児との両立が出来るように毎日全力で何事にも取り組んでいきたいと考えています。

C3
まつり なほ
松森 奈穂
クラーク

1からのスタートで、沢山の方々に何かとお世話になりますが、元気で、信頼してもらえる一員になれるよう、頑張りますので宜しくお願いいたします。

C5
かつて
勝部 なずな
ケアワーカー

少しでも患者様が笑顔になれるように、笑顔に元気がよく私のモットーでもあるため、元気で笑顔に関わっていきたいと思います。

医事課
おかべ たくみ
岡部 拓実
事務員

1年目から何事にも積極的に業務を努め、1日でも早く仕事内容を覚え即戦力となるよう一生懸命頑張ります。

医事課
くめ ひろき
久米 弘起
事務員

患者様に心地良く、病院を利用していただけよう、人間としての愛の精神をもって日々、努力していきます。

医事課
たさぐわ ひろか
瀧川 弓香
事務員

はじめてのことばかりで、皆さんにはご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、一から頑張りますので宜しくお願いいたします。

老健おかなみ
にしむら まさこ
西脇 麻紀子
支援相談員

笑顔でがんばります。よろしくお願ひします。

老健第2おかなみ
あかもり きよこ
岡森 紀美子
支援相談員

知識や技術の向上に努めると共に、適切なサービスマナーを身につけ、より良いサービスの提供に繋げられるよう業務に取り組みます。

老健伊賀ゆめが丘
きしま はるか
貴島 悠香
クラーク

持ち前の明るさで、笑顔で利用者さんと接し明るい気持ちになって頂けるように頑張ります。

老健伊賀ゆめが丘
こまつ みずき
小松 瑞樹
介護福祉士

高校で実習させていただいたので、これからは実習ではなく職員としての自覚を持ち仕事をしていきます。

老健伊賀ゆめが丘
はやま ゆりあ
葉山 ゆりあ
介護福祉士

何事もあきらめず、任された事は最後まで。笑顔で。

岡波総合病院リハビリテーションセンター(通所)が開設されました!

岡波総合病院リハビリテーションセンター 辻本 健吾

本年5月7日より、病院内リハビリ室にて短時間の通所リハビリを開始しました。

当センターは通所リハビリを利用している方々の「リハビリだけに集中したい」や「半日の利用は長い」といった要望に応えたいとの想いから病院併設型の超短時間デイケアの設立に至りました。ご自宅での生活動作や趣味・仕事といった生きがいに対する要望に介護保険でのリハビリを提供させていただきます。提供内容はリハビリが中心であり、4つの項目に分けられます。自宅で自主的に行って頂くトレーニングの指導を中心とした個別リハビリ、集団体操、認知課題を同時に行う有酸素運動(バイク)、学習療法。これらを利用者様の目標に合わせてスタッフと相談しながら決めていきます。限られた時間だからこそ目標に向けて集中的に取り組むことが可能と考えます。何かをやりたい気持ちを持っているが一歩が踏み出せない、そういった方々の手伝いをさせていただきます。気になった方は気軽にご相談ください。心よりお待ちしております。

【提供日】月曜から金曜(土日祝日年末年始を除く)

【直通TEL】0595(24)4316



三 おかなみ出前講座

ご好評いただいています！

2019年3月11日～5月28日

お問合せ

社会医療法人畿内会 岡波総合病院
地域医療連携室
TEL 0595-21-3154(直通)
FAX 0595-21-3145(直通)

3月11日 川西老人クラブ様



テーマ
食中毒について

講師
感染管理認定看護師

村田 幸

3月14日 いきいきサロンしらふじ会様



テーマ
少しでも若々しく
脳の機能を保つために

講師
脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師 東雲 洋美

4月18日 いきいきサロン
「げんきカフェ」様



テーマ
認知症に
ならないために

講師
老人看護専門看護師

市川 智子

5月20日 西条いきいきサロン様



テーマ
家族が
認知症となった時に

講師
老人看護専門看護師

市川 智子

5月24日 伊賀市上野師友会様



テーマ
いつまでも元気で
生活するために

講師
老人看護専門看護師

市川 智子

5月28日 諸木やまぶきサロン様



テーマ
認知症のはなし

講師
認知症看護認定看護師

川島 純子



『三重県立看護大学と岡波総合病院との連携協力』の 協定を締結しました

看護部長 松島 由実

ますます多様化する医療ニーズにともない、それらに的確に応えられる臨床能力に優れた看護師が求められています。より良い看護サービスを提供し、地域に貢献できる看護職の育成を目指して、教育機関である三重県立看護大学(津市)と、臨床現場である当院が、連携協力の協定を締結いたしました(2019年3月22日)。

今後は、看護学生の臨床実習を受けるほか、当院の看護師が研修先として同大学を利用するなど、互いに学び合う関係を強化していきたいと考えております。



連携協定締結式～当院にて～



ご利用者さんとの園芸活動の取り組み

介護老人保健施設 第2おかなみ
リハビリテーション科 岩瀬 俊樹

皆さんは園芸療法をご存知でしょうか？園芸療法とは「花と緑で人を癒す」療法です。1812年にアメリカで発祥し、今では日本でも多くの施設で取り入れられています。園芸は適度な運動を伴う活動であり、植物を育てることを楽しみながら身体機能の向上や維持を図ることができます。また陽光にあたりながら植物や土に触れることで五感が刺激され精神面や認知面にも効果がみられます。このような効果のある園芸活動を第2おかなみではリハビリテーションに取り入れています。当施設の機能訓練室からは畑や花壇が望め、作物の生育の様子や四季折々の花を楽しむことができます。天気の良い日にはご利用者さんと外に出て、作物の生育具合を確かめたり、花壇の世話などを一緒に行っています。普段居室で過ごすことが多い方が畑や花壇の様子を見るために屋外に出てきて下さることもあります。また植物を話題に会話も弾みます。当施設のご利用者の中には農業に従事されていた方も多く、育て方や収穫時期といった様々な助言をくださる方もいます。収穫の時期にはリハビリテーション科のスタッフがその人に適した方法でサポートしながらご利用者の皆さん自身の手で収穫して頂いています。皆さん楽しみに、それでいて真剣な表情で収穫して下さっています。採れた野菜を見て満足そうな表情をなさったり、歓声を上げたりされる方もおられます。

第2おかなみに来られることがあれば、是非一度畑にお立ち寄りください。





水虫は治らない？

薬剤部 山本 豊子

毎年、湿度の高い季節になると足がかゆくなって、という方はいらっしゃいませんか？

水虫は白癬菌という真菌(カビ)が原因で、足白癬・体部白癬・爪白癬などに分類されています。足白癬には、指の間がふやけて皮がむけたりするタイプ(趾間型)や、小さな水ぶくれができるタイプ(小水泡型)、足の裏全体が厚くなるタイプ(角質増殖型)などがあります。

よく見られる趾間型や小水泡型の足白癬には外用の抗真菌薬が使用されます。クリーム・軟膏・液体などがあり、症状に適した剤型が選ばれます。

白癬菌は皮膚のもっとも外側にある角質を好み、角質に根を張って増殖します。塗り薬は、菌がいる古い角質が新しい細胞に押し出されて垢になって剥がれていくまで塗る必要があります。角質が落ちるまでの期間は1~2ヶ月と長いので、完全に症状が消えてからも最低1ヶ月、できれば2ヶ月塗り続けるのが重要なポイントです。塗る範囲は症状のある場所だけでなく、かかとからつま先まで全体にするなど、広めに塗るほうが効果的です。

爪白癬の場合は市販の外用薬では爪の奥まで薬が行き渡らないため、内服薬又は近年登場した爪白癬用の塗り薬が使用されています。塗り薬は爪が伸びきって新しくなるまでの半年~1年、気長に継続する必要があります。

水虫は、しっかり治療すればほとんどの方が完治することが出来ます。中には紛らわしい皮膚疾患もあり、また水虫にも色々ありますので、皮膚科受診の上、指示どおり治療されることをお勧めします。

カ 乾燥 ケ 検査
キ きれい コ 根気
ク くすり



褥瘡(床ずれ)処置について

N3病棟 前川 のぞみ

※洗浄の目的ついて

- ① 傷の治りを活性化させるために
傷の微生物や壊死組織を洗い流す
- ② 傷の回りの皮膚のケア
→ 傷の回りの皮膚も健康な皮膚に備わったバリア機能が低下しています。洗浄をしっかりとおこなって皮膚の損傷を守りましょう。



※洗浄時のポイント

- ① 十分量の微温湯で洗浄しましょう
- ② 弱酸性の洗浄剤を用いると効果的です
- ③ 傷とその周囲の皮膚も一緒にケアしましょう



※何で洗うと効果的??

水道水での洗浄で十分です。ポイントとしては「**洗浄水の温度**」です。皮膚や傷の汚れは、常温より微温湯の方が落ちやすいと言われています。傷の治りが活性化される温度は38度前後と言われています。**人肌程度でOK!**また、人の皮膚は弱酸性であるため、**弱酸性の泡の洗浄剤**で洗うと効果的です。

※固形石鹸はアルカリ性なので、弱酸性を謳っているものを使用しましょう。

♥ごしごしと洗うのではなく、泡で汚れを浮き上がらせるイメージで優しく洗いましょう

その後はたっぷりの人肌程度の温度のお湯で洗い流しましょう

※洗浄後のポイント

- ① 洗浄剤をしっかりと洗い流しましょう
- ② 水分をしっかりと優しく拭き取りましょう
- ③ まわりの皮膚が乾燥していれば保湿剤も塗りましょう

社会医療法人 畿内会

岡波看護専門学校



オープンキャンパスで「楽しい看護のはじまり」を体験しませんか？



学校長 山内木 鶴子

看護師を目指している方、岡波看護専門学校で看護師になる夢を叶えませんか？

本校は、1学年20名の少人数制の学校です。教員と学生の距離が近く、アットホームな雰囲気看護を学んでいくことができます。また、充実した講師陣や最新のモデル人形などの教育環境も整っています。

まずはオープンキャンパスで本校の雰囲気を感じてください。看護師への道が見えてくるとと思います。看護師に少しでも興味がある方も是非ご参加ください。「楽しい看護のはじまり」を体験できるとと思います。



模擬店ブースの様子



看護体験コーナー(血圧測定)

2019年度 オープンキャンパス

7/27(土)
10:00~

- ※ 学校説明
- ※ 看護体験
- ※ 学生との交流
- ※ 受験対策
- ※ 模擬授業
- ※ 軽食準備しています

準備の都合上、事前申し込みが必要です。
申し込みは電話またはホームページよりお願いします。

随時学校見学も受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

社会医療法人 畿内会 岡波看護専門学校
〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町1734番地
TEL 0595-21-3138 FAX 0595-41-0199
E-mail oka-ns@ict.ne.jp
URL <http://okanami-kango.ac.jp/>

